

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 29 年度 第 1 回理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 5 月 12 日（金）18：30～20：30

開催場所：岐臨技事務所（岐阜市藪田南 3-5-10 コスタ岐阜県庁前 603 号室）

出席者：後藤、早川、兼子、林（博）、高木、浅野、松浦、川島、舟橋、佐々木、荒井、乙訓、林（泉）、美濃輪、棚村、市川、帖佐、佐藤、清水、高崎、柴、森、太田

欠席者：青木

議長：兼子会長

議事録：高木理事

- ・高木理事より庶務部からの連絡事項があった。

日臨技から郵便物があり、平成 29 年度日臨技事業計画における各都道府県技師会への協力について、また 3 月 25 日に開催された日臨技第 7 回理事会において平成 29 年度日臨技事業計画と予算が承認された連絡であった。

（高木理事）

- ・日臨技より都道府県関連の平成 29 年度事業計画について兼子会長より報告があった。

1・第 4 回「地域ニューリーダー育成講習会」の開催にあたり中堅技師 1 名を推薦。参加者交通費は日臨技が負担、宿泊費は都道府県技師会負担する。平成 30 年はバージョンアップした講習会を計画する予定である。

2・都道府県主催「次世代ニューリーダー育成講習会」（仮称）開催支援

地域ニューリーダー育成講習会受講者が中心となり人材育成事業を展開していただきたい。日臨技は支援を予定している。

3・「初級・職能開発講習会」の開発依頼（日臨技主催）卒後 3 年から 5 年の会員を対象とし講習会企画・講師選定など日臨技主催で開催し経費も日臨技負担とする。

4・「医療現場における職能向上のための検査技師育成講習会」の開催（1 月頃）。平成 29 年度は各都道府県より代表者 1 名を推薦し、日臨技で開催する。経費は日臨技が負担。その後 3 年間「医療現場における職能向上のための検査技師育成講習会」を各都道府県で開催する。

5・全国「検査と健康展」は 11 月を目処に開催。

6・支部学会関連の開催依頼（支部学会担当県）

① 学術フォーラム

養成校代表者、支部学会事務局、日臨技担当で準備室を立ち上げ企画する。

② 中高生向け進学支援事業

・高木理事より平成 29 年度日臨技助成事業について報告があった。

1 ・日臨技精度管理結果サポート事業助成

定額 4 万円・日臨技会員である参加者 1 人あたり 500 円最大 3 万円を 1 研修会に限り助成する。「C・D」評価施設へのサポート事業。

2 ・全国「検査と健康展」開催助成、一律 50 万円を助成

3 ・生涯教育推進研修会助成、1 研修会につき定額 2 万円及び日臨技会員である参加者 1 人あたり 500 円。最大 5 万円まで助成します。

4 ・総会委任状回収委託

総会委任状の回収数及び出席者数に対して 1 名あたりに対し助成します。

・高木理事より平成 29 年度生涯教育推進研修会への助成について報告があった。

1 ・助成対象研修会

① 各都道府県技師会において日臨技会員を対象として企画・運営される研修会であること。

② 平成 29 年 4 月から平成 30 年 2 月までに開催する研修会であること。

③ 日臨技生涯教育制度の行事登録及び予算申請を開催一ヶ月前までに行い、生涯教育点数が付与され、助成金対象審査を受け担当理事が承認した研修会とする。

④ 助成対象研修会の報告書提出期限は平成 30 年 3 月 10 日とする。

2 ・助成交付額の算定

1 研修会につき定額 2 万円とし日臨技会員参加者 1 名につき 500 円を乗じた額を算定。参加者の助成は 60 名までとし、5 万円を限度額とする。

3 ・申請方法について

都道府県技師会専用会員管理システム行事登録および予算登録等の入力を行う。開催 1 ヶ月前までに申請すること。

4 ・研修会終了後の手続きについて

都道府県技師会専用会員管理システムにて参加登録を完了し決算報告を入力すること。

5 ・交付額の振込について

決算報告書作成完了から 2 ヶ月を超えない期間で各都道府県技師会の指定口座に送金する。

6 ・研修会経費について

研修会開催に要する経費が最終的に赤字になっても補てんは一切行わない。赤字となった場合の決算報告書には都道府県推進事業費として不足分を計上するものとし、収支差額 0 円とする。収支が黒字であった場合でも返金は求めないが都道府県推進事業費の計上がある場合その金額から黒字分を差し引き最終的に残った金額のみを黒字として計上する。

・高木理事より予算申請書・決算報告者の作成にあたり質問が多かった内容をまとめた試料について報告があった。

1. 予算申請について

予算申請の途中で保存が可能になりました。予算書入力画面の書類進捗を「作成中」に変更し保存してください。再度入力完了したら必ず「作成完了」に戻してください。

2. 提出について

予算申請書、決算報告書の郵送・メールでの提出は不要です。

3. 概要・効果について

研修会の内容について生涯教育の観点からみた振り返りを記入してください。

4. 参加人数について

決算報告書の参加人数は講師・実務委員・非会員を含めた参加者一覧の合計人数と一致するように入力してください。

参加者一覧の人数は参加登録をすると変動します。参加登録が済んでから決算登録を作成してください。

非会員参加者は参加者登録画面の非会員参加人数内訳から入力をお願いします。

5. 研修会参加者による助成金について

日臨技に在籍している参加者の人数を入力してください。

会員であれば講師・実務員も含めて報告してください。

入会申請中の方を含める場合は決算報告書の備考欄に氏名を入力してください。ただし入会手続き中の確認が取れない方は助成金の対象といたしません。

6. 参加費について

参加費を徴収した場合は、必ず参加費の入力を行ってください。

7. 支出の区分について

極力以下の区分に合わせて入力をお願いします。

実務員経費・実務員交通費・会議費・印刷費・消耗品費・通信運搬費・会場費・機器借用代・雑費

8. 参加費一覧について

都道府県専用システムの参加者登録画面より入力が完了すると参加者一覧に反映されます。決算報告書の人数と差異がないよう確認してから決算報告書を作成してください。

・高木理事より日臨技からの送付資料についての説明があった。

会費の送金内訳は平成 29 年度会費（10,000 円）×28 名＝280,000 円である。

「病棟業務に必要な能力開発実践研修会～臨床検査を行うために必要な前工程の集中型能力向上トレーニング～」のご案内と広報についてのお願いがあった。日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）・30 日（日）9：30～16：20、会場：医療研修施設「ニプロ i-MEP（アイメップ）」滋賀県草津市で開催する運びとなりました。また今後、検査工程（10

月)、検査後工程(2月)の講習会を予定しており多数の参加をいただけるよう広報を、よろしくお願ひいたします。

・高木理事より岐阜地区からの報告があった。

平成29年度春季拡大研修会打ち合わせ会議が第3回・H29/4/6と第4回・H29/5/11に開催した。進捗状況についてご説明します。

研修会案内及び参加申込書を4月20日定期便で発送しました。

ランチョン2社

① ロシュ「誰でも始められる免疫抑制剤のTDM～最新トピックを交えて～」

講師 木内伸栄 先生

② 積水メディカル「移植時における薬物モニタリング」講師 服部和久 先生

広告協賛は9社 井上精機・シノテスト・積水メディカル・シーメンズヘルスケア・富士レビオ・極東製薬・栄研化学・岐阜県産業保健センター・デンカ生研

輸血部研修会は北川順一先生「造血幹細胞移植と輸血部門の関わり」

血液部門研修会は笠原千嗣先生「造血幹細胞移植の進歩2017」

印刷会社(南進社)に垂れ幕と資料集を依頼しました。

日臨技行事登録済と日臨技予算入力は済みました。

公開講座宣伝広告について(咲楽・広報ぎふに依頼済)5月号に掲載されます。

公開講座の景品についてはオムロン上腕式血圧計1台(4,596円)CUSTAM非接触体温計1個(3,974円)最新健康診断と検査がすべてわかる本5冊(8,640円)合計額17,210円です。(高木理事)

今後の予定

研修会参加者名簿作成、参加申込書は5月12日(金)必着、種村さんに参加者リストの作成を依頼します。

資料集を発送します。(兼子会長・講師3名・ランチョン・広告協賛)

総合司会アナウンス原稿について岐阜大学(松野さん・大森さん)に5月20日頃までに渡す。(帖佐先生を通じて)

前日の準備について

平成29年6月3日(実務委員7名は午後5:30会場に集合)

会場設営(机・椅子)看板(案内表示)垂れ幕(4枚)看板設置、パソコン・マイク・プロジェクター・ポインター確認

当日の準備について

平成29年6月4日(実務委員8名・スタッフ5名は午前8時会場に集合)担当業務につく。(高木理事)

平成29年度春季拡大研修会について本理事会で承認をした。

- ・第56回岐阜県医学検査学会の日程と会場について高木理事より報告があった。

開催日：平成30年3月25日（日）

開催場所：OKBふれあい会館（県民ふれあい会館）302会議室（大会議室）最大192名収容可能である。

- ・飛騨地区荒井理事より平成28年度飛騨地区総会についての報告があった。

日時は平成29年3月5日（日）。

場所は久美愛厚生病院2階久美愛ホール。

出席者数17名：委任状数39名：飛騨地区会員数64名であった。

議案

1) 平成28年度活動報告

平成28年10月2日（日）第27回高山市市民健康祭り（高山市保健センター）開催。

来場者数は2,600名、岐臨技参加スタッフ14名、岐臨技コーナーへの参加者数は305名（血管年齢測定219名、骨密度測定86名）であった。

2) 平成29年度活動予定

①高山市市民健康祭りへの参加予定。開催日は平成29年10月1日（日）の予定。

②平成29年度の秋季拡大研修会が飛騨地区の担当で開催。

開催日は平成29年11月12日（日）。

開催場所は世界生活文化センター。

研究班は生理部門と検査総合部門。テーマは未定である。

3) 平成29年度の岐臨技行事予定について報告した。（荒井理事）

- ・中濃地区乙訓理事より中濃地区総会についての報告があった。

日時：平成29年3月23日19:00～19:35

場所：岐阜医療科学大学 1階会議室

出席者15名、委任状109名であった。

議題内容

①平成28年度活動報告

②平成29年度活動計画（乙訓理事）

「検査と健康展」は理事会にて各地区で持ち回り開催となっており、平成29年度は中濃地区で担当することが中濃地区総会にて承認された。

開催場所は関市わかさプラザ、SEKIいきいきフェスタと同時開催とし、開催日を12月3日（日）としたい。（高崎理事）

「検査と健康展」の開催日時および場所については平成29年12月3日（日）、関市わかさプラザで開催とすることで本理事会の承認を得た。

- ・高崎理事より中部圏医学検査学会について報告があった。

平成 31 年は岐阜県で開催する。担当は中濃地区である。

開催日時は第一候補が 2019 年 9 月 28 日～29 日、第二候補が 10 月 5 日～6 日、会場を長良川国際会議場としたい。

今後実行委員会を立ち上げ準備を進めていく。(高崎理事)

平成 31 年度中部圏医学検査学会について、本理事会で承認した。

- ・帖佐理事より学術部からの報告があった。

新人サポート研修会予算

収入は、一般会員参加費 60 名 (60,000 円) 会員講師 8 名 (0 円)、非会員参加数(非会員は申請中も含む)30 名 (30,000 円)、学生 30 名 (0 円) ランチョン 2 社 (100,000 円)、広告費 12 社 (120,000 円)、日臨技助成金 (50,000 円) 合計額 (360,000 円)。

支出は、会館会場使用料 (0 円)、お弁当(120 食) お茶付き (120,000 円)、テキスト印刷費 (201,096 円)、会場警備費 (24,000 円)、会員講師日当 8 名 (16,000 円)、会員講師交通費 (9,400 円)、実務委員日当 7 名 (7,000 円)、実務委員交通費 (10,580 円) 合計額 (388,076 円)。

収支金額として (-28,076 円) である。

新人サポート研修会予算について本理事会で承認した。

- ・帖佐理事より部門研修会の承認事項について報告があった。

① 臨床一般検査部門研修会

日時：平成 29 年 5 月 21 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 45。

場所：岐阜大学医学部 2 階実習室。

内容：「初級者向け 尿沈渣検査 ～講義&実習～」13 : 30～16 : 45

「全自動便尿分析装置 AA01 のご紹介」15 : 00～15 : 15

「尿沈渣実習」15 : 15～16 : 45

実習指導：岐阜県臨床検査技師会一般検査部門員ほか。

収入 (助成金、参加費 (500 円) : 60000 円)

支出 (スライドガラス、昼食代、実務員日当交通費 : 37940 円) 収支は黒字の予定。

② 生物化学分析部門研修会

日時：平成 29 年 7 月 9 日 (土) 10 : 00～15 : 00 (9 : 30 受付開始)

場所：岐阜大学病院 多目的ホール (40 名程度の参加予定)

症例 (裏面) に関係しそうな話題をご講演いただき皆さんと一緒に読み解きたいと思います。(お弁当付き) 研修会終了後に会議兼 座談会を開催したいと考えておりま

す。部門員と希望者にて 15~20 名程度×飲食代@¥500=¥10,000 の支出を見込んでおります。ご検討のほどよろしくお願い致します。

予算書はまだですが、弁当（メーカー持ち）で助成金の申請を行い黒字の予定。

③ 臨床微生物部門研修会

日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）14：00~17：00

場所：岐阜医療科学大学 1 号館 4 階 MT-3 実習室

内容：実習「二級臨床検査士試験対策を含めた微生物検査の基本」。

収入（助成金、参加費（1000 円）：42500 円）

支出（培地（別紙資料 3）実務員日当交通費：35000 円程度）。収支は黒字の予定。

・帖佐理事より輸血部門研修会予算書についての報告があった。

収入の部は運営費日臨技負担分（32,000 円）、参加費 2,000 円・会員 20 名（40,000 円）合計（72,000 円）。

支出の部は会員講師日当（1,000 円）、部門長・副部門長日当（2,000 円）消耗品費（62,000 円）合計（65,000 円）。

必要試薬物品一覧についてはマイクロタイピングシステム ABD カード mono（9,576 円）、マイクロタイピング AHG カード（30,096 円）ID-DiaCell ABO AL-B（3,135 円）ID-DiaCell I-Ⅱ-Ⅲ（5,472 円）ID-Diluent 2（6,840 円）恒温槽バイオラット貸し出し（1,000 円）、遠心機バイオラット貸し出し（1,000 円）合計（57,119 円）である。（帖佐理事）

各部門研修会の日程及び予算案について本理事会にて承認した。

・帖佐理事より日臨技中部圏支部医学検査学会の一般演題募集について報告があった。

愛知県臨床検査技師会は本年 9 月 30 日（土）10 月 1 日（日）の両日、名古屋国際会議場で開催される平成 29 年度日臨技師中部圏支部医学検査学会（第 56 回）開催にあたり会員の皆様より一般演題を募集いたしております。目標は 200 演題、締め切りは 5 月 15 日です。よろしく申し上げます。（帖佐理事）

演題への参加、よろしくお願いいたします。（兼子会長）

・佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

H29 年度精度管理調査を実施し募集します。

5 月 20 日の定期便で案内書を郵送する予定です。

昨年度との変更内容は、生化学、2000 円→3000 円（試料を日臨技供給品に変更）。

免疫（腫瘍マーカー）2000 円→3000 円（追加項目（CA19-9 CA125））。

総括集の郵送先は試料送付先から参加費振込先に変更した。

生理検査（腹部超音波）の設問作成を野村みどりさん（大垣徳洲会病院）に依頼した。

今年度より施設長宛に設問依頼書を発送いたします。

JAMT QC 精度管理システムは本年度内容を修正中 (8/17 完了予定)。

岐臨技精度管理調査は今年度も例年どおり日臨技システム (JAMTQC) を使用して行います。

参加方法は日臨技のホームページ <http://www.jamt.or.jp/>より、トップページ右端中央の臨床検査精度管理調査をクリックし、『JAMTQC 参加施設向けシステム』から施設番号と施設パスワードを入力してログイン、『事務メニュー』⇒『精度管理事業』⇒『平成 29 年度岐阜県技師会精度管理調査』を選択してお申込みください。(佐藤理事)

日程は精度管理調査・参加申込み受付が平成 29 年 6 月 1 日～15 日。

試料発送が 8 月 27 日。結果入力締切りが 9 月 11 日。

結果一次報告が 10 月初旬。総括集発送が 12 月下旬。報告会が平成 30 年 1 月 28 日である。なお、参加費用につきまして、昨年度よりの免疫検査項目の追加および臨床化学の試料を日臨技供給品に変更したことにより経費が高騰しており、やむなく免疫 (腫瘍マーカー) 2,000 円→3,000 円、臨床化学 2000 円→3,000 円に改定させていただきます。

実施項目は別紙「平成 29 年度精度管理調査コース一覧」をご覧ください。また年末に送付する精度管理総括集は、参加費の振込先に送りますのでご了承ください。(佐藤理事)
平成 29 年度精度管理事業について本理事会で承認を得た。

・清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成 28 年度永年職務精励者表彰該当者は兼平 昌彦さん (土岐市立総合病院)、武藤晴美さん (自宅会員)、内田 綾子さん (岐阜県立多治見病院)、浅野 康弘さん (株式会社メディック)、秋山 美貴さん (中津川市民病院)、伊藤 令子さん (株式会社メディック)、西尾 真司さん (一般社団法人 総合保健センター) です。

当日は西尾 真司さんに代表して表彰状を受け取っていただきます。

平成 28 年度功労者表彰該当者は中村 秀博さん (医療法人香徳会 関中央病院)、石郷 潮美さん (大垣市民病院) です。お二人には一言ずつご挨拶をお願いいたしました。

表彰記念品は功労者が飛騨春慶店の小物入れ (4,000 円×2 名分、送料 970 円、計 8,970 円)。永年勤続者：図書券 (500 円×7 名分、計 3,500 円) である。

平成 28 年度永年職務精励者・功労者表彰について、本理事会において承認した。

・高崎理事より広報宣伝部からの報告があった。

平成 28 年度の会報誌は、第 1 号 (8 月) 会長挨拶、新理事紹介など、第 2 号 (10 月) 全国学会、第 3 号 (12 月) 秋季拡大研修会、検査と健康展、第 4 号 (1 月) 年頭のあいさつ、第 5 号 (5 月) 県学会について、発行しました。

次号 (平成 29 年度第 1 号) タイムスケジュール

投稿願い (発行月の前月 1 日より依頼) 6 月 5 日 (月)。

原稿締切り（発行月の前月末日）6月30日（金）。

内容確認、校正（発行月の理事会日）7月14日（金）。

発送（発行月20日）7月20日（木）を予定。

平成29年度第1号（7月）については①新年度会長挨拶、②総会報告、③春季拡大研修会報告、④各部門からの投稿記事、⑤施設紹介（中濃地区、飛騨地区）の予定である。

平成29年度第1号岐臨技会報について本理事会で承認した。

- ・柴部長より平成29年度懇親会の計画案について報告があった。

開催日時は平成29年7月16日（日）17時～19時。

場所は岐阜キャッスルイン。会費は7,500円。

参加募集は各施設代表者様・理事・監事・賛助会員等である。（柴理事）

理事・監事のみなさま是非参加してください。（兼子会長）

- ・平成28年度岐阜県臨床検査技師会事業報告について各部長より報告があった。

- ・兼子会長より平成28年度事業報告及び冒頭についての報告があった。

一般社団法人岐阜県臨床検査技師会定款の第3条には当会設立の目的が記されています。それは、「衛生思想の普及及び啓発並びに臨床検査を通じての地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査に関する技術及び知識の向上を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する」です。また、目的を達成するために、以下の事業を行うよう定められています。

- (1) 衛生思想の普及及び啓発に関すること。
- (2) 臨床検査を通じての地域保健事業への協力に関すること。
- (3) 学会の開催に関すること。
- (4) 臨床検査に関する講習会、研修会及び研究会に関すること。
- (5) 会誌の編集・発行に関すること。
- (6) 検査及び検査技師の実態調査に関すること。
- (7) 精度管理事業に関すること。
- (8) 内外関係団体との交流に関すること。
- (9) 県民の健康増進に関すること。
- (10) その他この法人の目的を達成する為に必要な事業の実施に関すること。

目的達成を目指し、平成28年度も多くの事業を実施しました。いずれも、会員・賛助会員の皆様のご尽力なくしては、成し遂げられませんでした。ご支援・ご協力に深く感謝いたします。

【継続して行った主催事業】

平成 27 年度に行った主催事業は、平成 28 年度にも実施しました。ただし、事業によっては細かな内容や実施回数などが異なる場合があります。

【期間を限定して行う主催事業】

「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」事業は、平成 26 年度から 3 年間同様の事業（講習会）を行う予定で開催し、平成 28 年度が 3 年目（最終年度）でした。

「エイズ予防啓発活動」事業参画は、平成 27 年度は都合により休止しましたが、平成 28 年度には参画しました。また、生物化学分析部門合同研修会に参画しました。

中部圏支部研修会の岐阜開催は、平成 28 年度にはありませんでした。

事業内容の詳細は各部からの報告を参照してください。（兼子会長）

- ・ 帖佐学術部長より平成 28 年度学術部事業報告があった。

各種学会

第 65 回日本医学検査学会（平成 28 年 9 月 3～4 日）神戸国際会議場。

第 63 回日本臨床検査医学会学術集会（平成 28 年 9 月 2～4 日）神戸国際会議場。

第 32 回世界医学検査学会（平成 28 年 8 月 31 日～9 月 4 日）神戸国際会議場。

第 55 回中部圏支部医学検査学会（平成 28 年 12 月 10 日～11 日）ホテル金沢。

第 55 回岐阜県医学検査学会、東濃地区担当（平成 29 年 3 月 12 日）セラミックパークで開催。

拡大研修会は春季、西濃地区担当（平成 28 年 6 月 5 日）大垣市情報工房、秋季、東濃地区担当（平成 28 年 11 月 13 日）セラミックパーク MINO で開催された。

部門研修会は、生物化学分析部門が 4 回開催、臨床生理部門が 5 回開催、臨床一般部門が 3 回開催、臨床血液部門が 6 回開催、病理細胞部門が 5 回開催、臨床微生物部門が 5 回開催、輸血・細胞治療部門が 5 回開催、染色体・遺伝子部門が 2 回開催された。

岐臨技新人サポート研修会は平成 28 年 5 月 29 日に岐阜医療科学大学で開催された。

日臨技委託事業は該当なし。

岐阜県臨床検査技師会会誌には生理機能検査部門より（大森由香里さん）岐阜大学医学部附属病院検査部（新規シスタチン C 測定試薬（サイアス Cys-C）の基礎的検討）、輸血・細胞治療部門より（浅野栄太さん）岐阜大学医学部附属病院検査部（自動輸血検査装置 Ortho VISION と CAuto Vue Innova E の比較検討）、臨床生理部門より（中山純里さん）岐阜大学医学部附属病院検査部（超音波検査が診断に有用であった Atriotic cephalocele の 1 例）、が投稿され掲載した。（帖佐部長）

- ・ 佐藤精度管理部長より平成 28 年度精度管理事業報告があった。

参加結果は精度管理調査の参加施設は合計 77 施設（医療施設 56、メーカー 21）で、前

年と比較してメーカーが5施設増加した。精度管理報告会の参加は96名（技師会会員69名、非会員20名）で、会員2名、非会員5名減少している。（佐藤部長）

免疫試料は今年度からリクイチェック（バイオラッド）に変更しCA19-9、CA125の項目を追加したが、試料価格が上昇している。

生化学試料は昨年同様の福岡県技師会試料を使用した。例年発生している試料漏れはなかった。

HbA1cは2年前からプール血球を使用していたが溶血の問題が解決できず、今年度は血液CBCと同様に試料発送当日に部員から採血して生血試料を作成した。しかし、健常者2名の試料のため、評価のツインプロットでは値の差が少なく、高値の評価ができなかった。

CBCの試料では白血球数の収束が悪く評価Cの施設が見られたが、これらの施設は内部評価、メーカー点検で問題が無かったため評価対象外としている。原因として試料作成時にHbA1cの試料も同時に作成したため従来の200mLバックから400mLバックに変更しており、十分な混和が出来なかったことも考えられ、次年度は200mLバックで作成予定である。

岐臨技サーベいのCBC試料はコントロール血球と違い、発送当日採血の新鮮血球を使用するため、より患者検体に近い試料であり測定機器間による差は少ないと考えられる。

Photoサーベイに関しては、発送直前の会議にて設問確認作業を実施しているが、一部の設問で開始後に設問修正が発生している。

輸血試料に関しては、血液センターから購入して発送前日に試料を調整している。

精度管理調査状況は5月20日に精度管理調査の案内発送を技臨技定期便で行い、6月1日からJAMTQCで受付を開始した。締め切りは6月15日にとしたが、締め切り後に2施設の参加依頼があり受理している。

8月27日に試料発送作業を岐阜市民病院で行っている。午前中にCBC、HbA1cの採血を岐阜市民病院医師の協力で実施し分注、午後より各担当者が試料を持参して案内資料、保冷剤と共に梱包作業を実施、ゆうパックにて郵送した。

郵送に関しては、今後はゆうパックによる検体輸送が特殊なジュラルミン容器による4重包装が必要になるため、次年度から他社への変更が必要である。

回答期間は9月12日までの2週間として集計作業を行った。

10月12日にはC、D評価の施設に1次報告書を郵送し、2次サーベいの参加確認と是正報告書の提出をお願いしたが、一部の施設で評価表の誤りがありお詫びして訂正している。

2次サーベいの再入力期間は10月24～25日としたが、評価の連絡漏れや結果入力の遅れなどの指摘があり、再度10月31日～11月4日まで再入力期間を延長した。

2次サーベいの参加については、各担当者が該当施設に直接連絡していたが、1次報告書が届く前に行っていたため、次年度からは1次報告書が確実に届いてから行うことと

した。

再入力を認める事については、データ不良の原因を自施設で検討して改善することが目的であり、そのために実施した状況を是正報告書として提出させているが、提出されていない施設があったため、後日請求している。

2次サーベイの結果としては、144項目あったC、D評価が28項目まで減少している。

12月末に総括集の発行と参加証明書、最終評価表を郵送したが、評価表の一部に日付の誤りが確認されたため、訂正文と共に再送付している。

1月29日には東海中央病院にて精度管理報告会を開催し、各担当者から評価結果を報告した。また、特別講演として岐阜大学附属病院の古田技師長から共用基準範囲についての講演をお願いした。

共用基準範囲の採用施設は、県内2施設のみであるが、アンケート調査から検討中7施設、他施設の状況観察中14施設あり、この講演により採用が増加することを期待する。

次年度に向けて、今年度は試料の高騰などでコストが上昇しており、次年度は総括集のカラーページを技臨技ホームページに掲載するなど、コスト削減を予定している。

岐臨技の精度管理調査は全国サーベイと違い、参加施設に直接に係わり合うことが出来るため、精度管理に関する問題点について指導、アドバイスなどのフォローアップを行い、検査の質向上を目指したいと考える。(佐藤部長)

・清水組織調査部長より平成28年度組織調査事業報告があった。

1 啓発および保健衛生事業について

(1) 検査と健康展

開催日時：平成28年11月20日(日)9時～17時

場所：アル・プラザ鶴見 1F 大垣市鶴見町

主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会・一般社団法人岐阜県臨床検査技師会

後援：厚生労働省・岐阜県病院協会・岐阜県看護協会・大垣市教育委員会・岐阜県

対象：中学生・高校生・一般市民

事業内容として

1. 各部門による、検査室業務の紹介

【生物化学分析部門】

1) メタボとは (パネル展示)

2) 唾液アミラーゼモニターを利用した体験型ストレスチェック

【臨床生理部門】

・超音波で体の中を見てみよう

超音波診断装置を用いて、頸動脈を調べ、実際にプローブをもって実体験

【臨床一般部門】

・模擬尿による尿検査の実施

【臨床血液部門】

- ・貧血の検査、血球の説明（パネル展示）

【病理細胞部門】

- ・顕微鏡を用いて口腔内の細胞観察

【臨床微生物部門】

- ・チェッカーを用いての手洗いチェック

【輸血細胞治療部門】

- ・輸血と血液型（パネル展示）

【臨床総合部門】

- ・健康相談コーナー

【その他】

臨床検査技師紹介 DVD 上映

2. 健康相談

専門医による健康相談（三楽病院 東條先生、東京女子医科大学 佐藤先生）

3. 健康チェック

- 1) 血管年齢測定
 - 2) 骨密度測定
 - 3) アンケートを用いて健康チェック
- ・生活習慣病チェック

4. リーフレット配布

技師派遣：36名 来場者数：420名

(2) 各地区市民健康まつり

① 平成28年度 第22回やさか福祉健康まつり

日時：平成28年10月23日（日）10:00～14:00

場所：中津川市坂下総合体育館

内容：骨密度測定（ビーナス） 100名

技師派遣：2名

② 平成28年度 第27回高山市市民健康まつり

日時：平成27年10月2日（日）8:30～15:00

場所：高山市保健センター1階

内容：血管年齢測定（ダイナパルス） 219名

骨密度測定（ビーナス） 86名

技師派遣：14名

(3) 平成28年度 大垣市市民の健康ひろば

日時：平成27年10月18日（日）9:30～15:00

場所：大垣城ホール

内容：血管年齢測定（ダイナパルス 2台）

骨密度測定（ビーナス 1台）

生活習慣病の予防啓発

臨床検査コーナー来場者 215名

技師派遣：14名

(4) 平成28年度 第37回 ぎふ市民健康まつり

日時：平成28年11月6日(日) 10:00～15:30

場所：岐阜市民文化センター

内容：尿検査(US-2200 2台) 224名

血管年齢測定(ダイナパルス 3台) 785名

頸動脈超音波検査(Xario 2台) 202名

健幸ウォークに参加

技師派遣：48名

(5) HIV・STI 予防に関する事業

①平成28年度 MSM 対象無料 HIV 検査会(主催 岐阜県健康福祉課)

ハートフルスクエアG 平成28年11月13日(日) 13:00～18:00

技師派遣：6名

②平成28年度 HIV 啓発活動(西濃保健所と合同開催)

岐阜経済大学 平成28年11月19日(土) 10:00～12:00

技師派遣：7名

2 功労者表彰対象者、永年職務精励者選出

3 平成29年度 「岐臨技 検査と健康展」の開催検討

以上が組織調査部の平成28年度事業報告である。(清水部長)

・高崎部長より平成28年度広報宣伝部事業報告についての報告があった。

1. 会報「ぎふ臨技」は、岐臨技会報第48号(2016.8.24)、岐臨技会報第49号(2016.10.21)、岐臨技会報第50号(2016.12.21)、岐臨技会報第51号(2017.1.30)、岐臨技会報第52号(2017.5.20)を発行した。

掲載内容は各種学会報告、拡大研修会報告、各部門研修会の案内・報告、施設紹介、投稿記事などである。

2. ホームページの維持管理は(株)ディックナレッジテクノソリューションを通じて各種情報を掲載した。

3. ホームページ バナー広告協力メーカーの契約管理、新規獲得は、10月～次年度10月まで、36,000円/社の年間計画。

H28年度は(株)ラジオメーター社が新規広告協力を得た。現在5社(SEKISUI、栄研、シスメックス、シーメンス、ラジオメーター)(高崎部長)

・柴渉外部長より平成28年度渉外部事業報告があった。

- 1) 法人対応部から渉外部へ変更となった。
- 2) 平成 28 年度定時総会において、平成 27 年度決算承認後、公益目的支出計画実施報告書を作成し、電子申請を行なった。

県医療整備課より、1 度の修正指摘を受け修正し、審査完了となった。

平成 27 年度、公益目的支出は予定通り。

終了予定年度：平成 36 年 3 月 31 日

当該事業年度末日の公益目的財産残高：10,921,543 円

(平成 28 年 7 月 1 日通知)

- 3) 岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会大腸がん部門

岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会へ参加した。(柴部長)

・高木庶務部長より平成 28 年度庶務部事業報告があった。

1) 庶務部及び事務員の業務

1. 研修会・連絡事項等の発送（毎月 20 日）
2. 理事会・常務理事会の開催案内送付（メールにて）
3. 事務所使用管理
4. 日臨技・各種団体・会員・賛助会員よりの問い合わせ等の対応
5. 各種の書類管理
6. 理事会・常務理事会資料作成
7. 定時総会・理事会・常務理事会の議事録作成
8. 会費管理に関する事項の対応
9. 定時総会出席者の日臨技生涯教育制度への登録
10. 事務所、マンション管理組合総会への出席

2) 事務所使用状況

1. 岐臨技役員主催による会議等

理事会・常務理事会・部門長会議・精度管理事業部会議・拡大研修会会議・岐阜市健康まつり等で使用された。

2. 一般会員の使用はありませんでした。

3) 事務所のカギ管理状況について

平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日の期間において、鍵（7 本及び予備 1 本）の管理状況は、紛失などの届出はなく適正に管理されていた。

4) 理事会・常務理事会

理事会 6 回（5 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）に開催

常務理事会 5 回（7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）に開催（高木部長）

・乙訓会計部長より平成 28 年度決算書についての報告があった。

1. 「収支決算書」は予算額と決算額を比較表示しています。

次に主な増減事項を説明します。

- ・ 経常収益の①「入会金・会費収入」の「正会員会費収入」の増加は会員数の増加（+42名）によるものです。
- ・ 経常収益の②「事業収入」の「研修会等参加収入」の増加は、主に「病理細胞部門」の認定病理技術研修会を開催したことによるものです。
- ・ 経常収益②の「事業収入」の「広告収入」は主に拡大研修会のテキスト広告料の増加によるものです。
- ・ 経常収益①の「事業費」の「事務員給与」は事務作業増大のため増加しました。
- ・ 経常収益①の「事業費」の「法定福利費」の増加は、当年度より発生した社会保険料によるものです。
- ・ 経常費用の①の「事業費」の「旅費交通費」は想定より多くの会議等が開催され増加しました。
- ・ 経常費用の①の「事業費」の「ホームページ維持費」は、岐臨技ホームページ更新費用が発生しなかったため減少しました。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「消耗品費」の減少と、「印刷費」の増加は、コピー機トナー代金など印刷用消耗品代金を、予算において「消耗品費」としたことによるものです。決算では「印刷費」としました。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「機械リース料」の減少は「検査と健康展」で予算より少なかったことによるものです。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「講師等謝礼金」の増加は主に「病理細胞部門」の認定病理技術研修会を開催したことによるものです。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「会場費」の増加は「検査と健康展」で予算より多かったことによるものです。

2. 「正味財産増減計算書」は前年度と当年度の決算額を比較表示しています。

次に主な増減事項を説明します。

- ・ 経常収益の「研修会等参加費収入」と「広告料収入」、及び経常費用の「事務員給与」「法定福利費」「旅費交通費」「ホームページ維持費」「機械リース料」「講師等謝礼金」「会場費」の増減は、上記「収支決算書」と同じ理由です。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「報賞費」は永年会員表彰者が少なく減少しました。
- ・ 経常費用の①「事業費」の「消耗品費」・「印刷費」の増減はコピー機トナー代金の印刷用消耗品が「印刷費」か「消耗品費」か、統一されていなかったことによるもので、当年から「印刷費」としました。よって「消耗品費」は減少、「印刷費」は増加しました。

3. 「貸借対照表」と「財産目録」の負債の部「前受金」は、平成 29 年度分の入会金・正会員会費収入のほとんどが 28 年度中に入金があったものです。これは毎年同じです。

(乙訓部長)

平成 28 年度事業・決算報告は本理事会において一部修正し、承認した。(高木理事)

本理事会で平成 28 年度事業報告について理事より承認を受け、その後、太田監事・森監事が平成 28 年度事業報告・決算報告が適正であると認め、平成 28 年度監査報告書を作成し署名・捺印された。(高木理事)

・高木理事より 6 月 4 日に開催される定時総会までの準備についての報告があった。

平成 29 年度定時総会第一号議案(平成 28 年度事業報告、平成 28 年度決算報告、平成 28 年度監査報告)は 5 月 10 日(水)に理事・監事全員にメールで発送した。

本日理事会で承認していただきありがとうございました。監査報告書を加えて、岐臨技 HP に掲載(5 月 17 日までには HP にアップロード)します。

4 月 20 日(岐臨技定期便)で定時総会招集通知を各施設に発送しました。議決権行使書の返信は 5 月 26 日(金)必着です。


議決権行使書開票者は高木理事、浅野理事、早川理事、後藤理事、太田監事にお願いしました。(高木理事)

議決権行使書開票日は 5 月 31 日(水)で開票開始時間は 18 時 30 分です。

開票場所は岐臨技事務所、開票者は上記 5 名(理事 4 名と監事 1 名)。

開票確認事項は第一号議案書面評決数で、承認する数・承認しない数・無効数・定時総会出席数である。同日、監事の承認を得て定時総会の場で資格審査委員(後藤理事)より書面評決数を報告する。(高木理事)

定時総会の役員選出について、司会者は(高木庶務部長)、開会の辞は(浅野副会長)、議長は県総合医療センター(森晴雄さん)と岐阜市民病院(平光幹彦さん)、書記は(高木庶務部長)と(川島理事)、資格審査委員は岐阜地区より(後藤理事)・(林(博)理事)・(早川理事)、資格審査報告者は(後藤理事)、西濃地区より(松浦理事)、中濃地区より(林(泉)理事)、東濃地区より(美濃輪理事)、飛騨地区より(佐々木理事)、監査報告は(太田監事)、閉会の辞は(棚村副会長)に決定した。(高木理事)

議長 藤子徹 

議事録署名人 森 さゆり 

議事録署名人 太田 義和 